

CASBEE-建築(新築)2016年版
SOSiLA厚木金田新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル						3.0			
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能						3.0			
2 界壁遮音性能						3.0			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0		3.0			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0		3.0			
1.3 吸音						3.0			
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温						3.0			
2 外皮性能						3.0			
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御						3.0			
2.3 空調方式						3.0			
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率						3.0			
2 方位別開口						3.0			
3 昼光利用設備						3.0			
3.2 グレア対策									
1 昼光制御						3.0			
3.3 照度						3.0			
3.4 照明制御						3.0			
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質						3.0			
4.2 換気									
1 換気量						3.0			
2 自然換気性能						3.0			
3 取り入れ外気への配慮						3.0			
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能					0.43			3.6	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性						3.0			
2 高度情報通信設備対応						3.0			
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観						3.0			
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性				3.0	0.50			3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			4.2	0.50	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高6.71m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	
			床荷重4500N/㎡以上				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.57	-	-	-	-
			、LED照明設備を導入している		5.0	0.71	5.0
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
			自動水栓に加えて、節水型便器を採用				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.22	-	-	
			床:タイルカーペット・長尺塩ビシート、基礎下:再生クラッシュアラン				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			5.0	0.22	-	-	
			躯体+軽鉄+仕上材のデテイルを採用し、OA70アームも採用している				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.30	-	-	
			PRTR法に該当しない建材種別が1つある				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
			スタイロフォーム ODP=0、GWP=3				
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			3.8	0.33	-	-	3.8
			LCCO2排出率79%				
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
			燃焼機器は使用しない				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-	
			適切な量の自転車置場・駐車スペース及び荷捌き用車両駐車施設を確保している。周辺道路の渋滞緩和対策としては、車両出入口の導入路付近に車両待機スペースを設けている				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	